



旭川ごみ通信 第31号

「旭川ごみ通信」では、ごみに関する情報を、町内会の皆様にお届けします。

ガス缶・スプレー缶をごみに出す場合 平成27年10月1日からは穴を開けずに出してください。

ガス缶等を中身が残ったまま排出されますと、収集車の火災事故の原因となるため、中身を使い切り、屋外など風通しの良い場所で、できるだけ穴を開けてから排出していただくようお願いしてきましたが、屋内で穴あけをした場合、残っているガスに引火して火災事故となるおそれがあることから、**今後は中身を使い切り、穴を開けずに排出していただくことに変更します。**

なお、ガス缶等は、これまでと同じく、透明又は半透明の袋に入れて、「燃やせないごみの日」に排出してください。

10月からのガス缶・スプレー缶の出し方



中身を使い切り、**危険ですので穴を開けず**に透明又は半透明の袋に入れてください。



お住まいの地域の「燃やせないごみ」の日に指定袋とは別にごみステーションへ出してください。**緑色の指定袋には絶対に入れないでください。**

問い合わせ先 旭川市クリーンセンター ☎ 36-2213

家庭用パソコンの拠点回収を平成27年9月30日で終了します!!

平成27年10月からは回収拠点に家庭用パソコンを持ち込むことは出来ません。「メーカーによるリサイクル」での処理をお願いします。

メーカーによるリサイクル方法 (メーカーに申し込み、送付されてくる「エコゆうパック伝票」を使って処分します。)



PCリサイクルマークの付いている製品
※リサイクル料金は必要ありません。



PCリサイクルマークの付いていない製品
※リサイクル料金の支払いが必要です。

回収はメーカーにお申し込みください

料金は各メーカーにお問い合わせください

メーカー連絡先等の問い合わせ先

(一社)パソコン3R推進協会 ☎03-5282-7685 HP <http://www.pc3r.jp/>

問い合わせ先 旭川市クリーンセンター ☎ 36-2213

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 回覧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

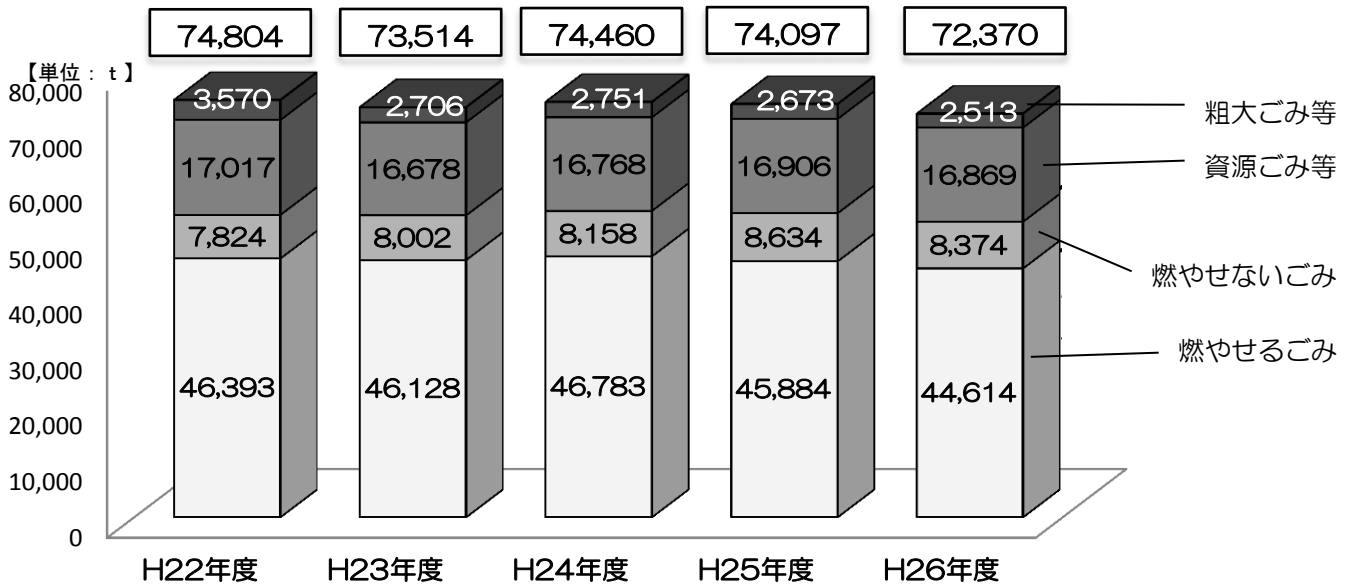
特集 ごみ処理の現状

ごみの増減

平成26年度の家庭ごみの排出量は、平成25年度と比べて約1,700 t の減量となりました。ごみが減った要因として、燃やせるごみが前年より約1,300 t 余り減少したことが挙げられます。一方で資源ごみの排出量はほぼ横ばいの状況となっています。

今後とも、ごみの減量や資源ごみの分別の徹底など、市民の皆様の御協力をお願いします。

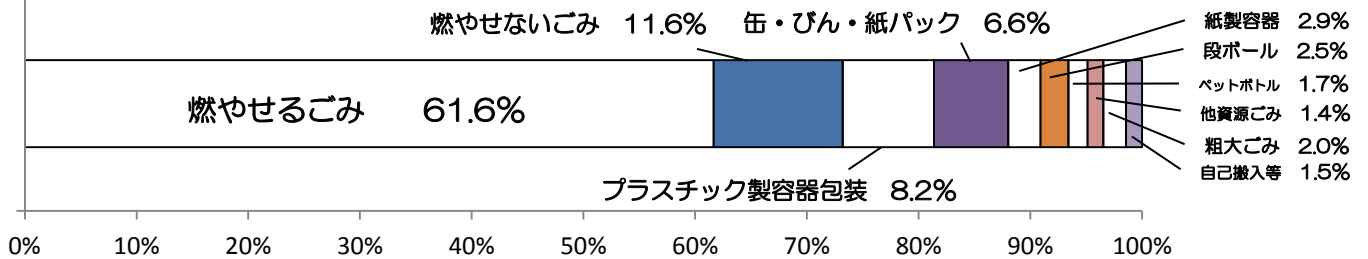
過去5年間の家庭ごみの排出量



ごみの内訳

平成26年度に旭川市内で排出された家庭ごみは72,370トン（下図：家庭ごみの内訳）

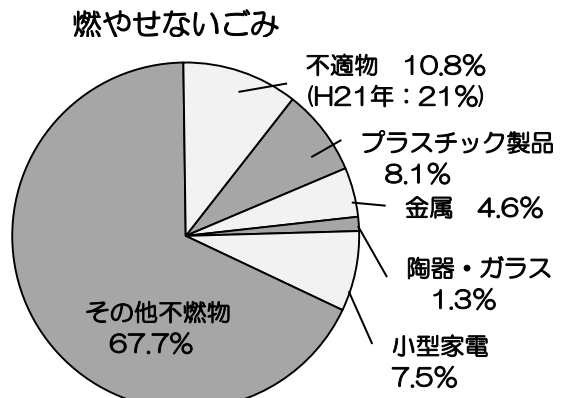
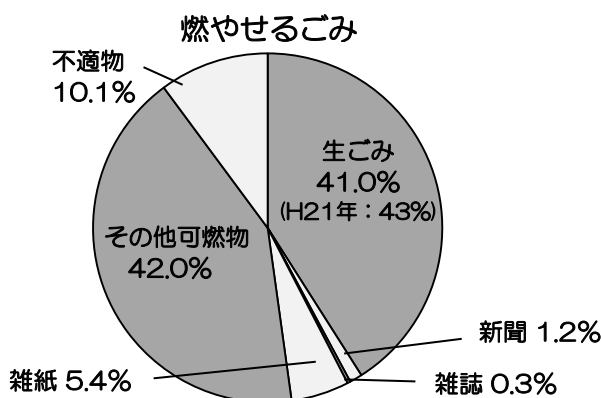
※他資源ごみの内訳は、乾電池・蛍光灯・廃食用油・布類・小型家電等です。



燃やせるごみ・燃やせないごみの組成

平成26年度には5年ぶりに家庭ごみの組成調査をおこないました。

前回調査と比較して燃やせるごみでは、生ごみの割合が約2%減少し、燃やせないごみでは、不適物の割合が半分以下になり、正しい分別が進んでいます。

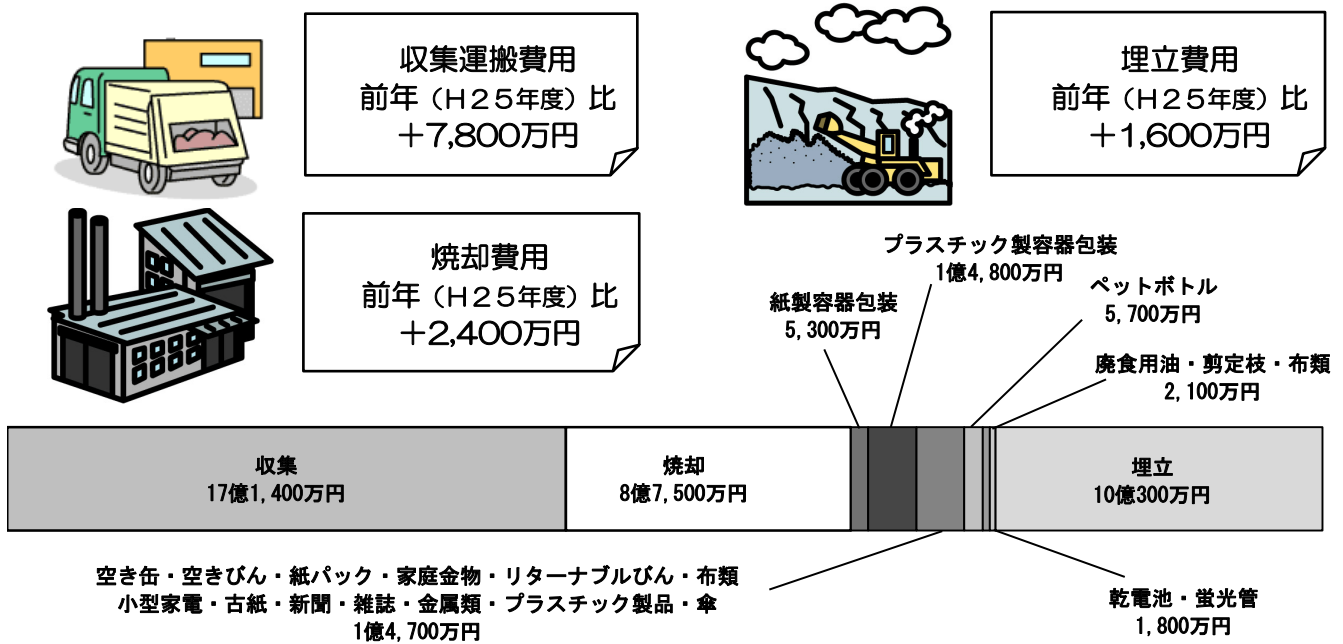


ごみ処理にかかる費用と資源物の売却益

旭川市のごみ処理費用

総額 約40億3,600万円 【平成26年度実績】

※処理費用には、業務委託、施設等の減価償却費、職員の人件費などを含みます。



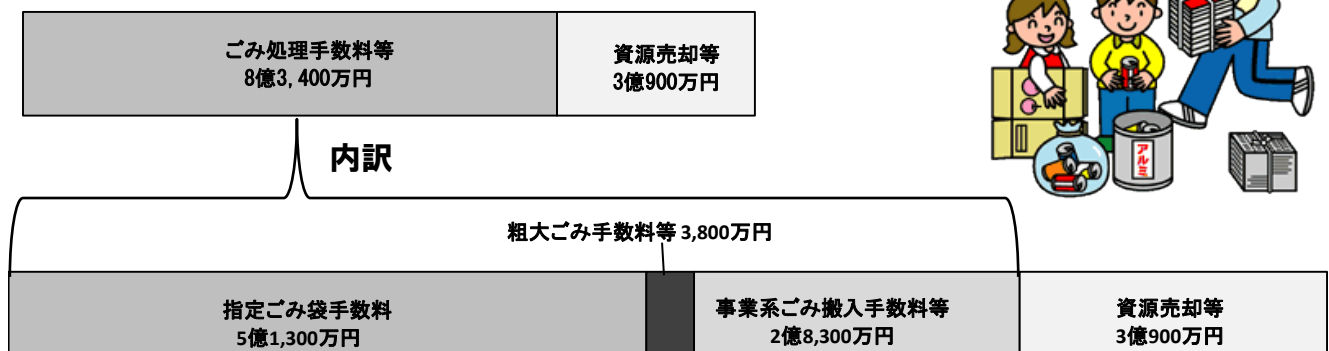
平成26年度ごみ処理費用の総額は、約40億3,600万円であり、平成25年度(約38億8,900万円)との比較では、約1億4,700万円の増額となりました。

増額となった主な理由は、委託の労務単価の上昇や、消費税率の上昇、燃料単価の上昇などによるものです。

ごみ処理費用を市民1人当りに換算すると、年間11,617円となります。

ごみに関する収入

総額 約11億4,300万円 【平成26年度実績】



平成26年度のごみに関する収入は、約11億4,300万円であり、ごみ処理費用全体の約3割になります。

平成25年度(約11億3,300万円)との比較では、約1,000万円の増額となりました。

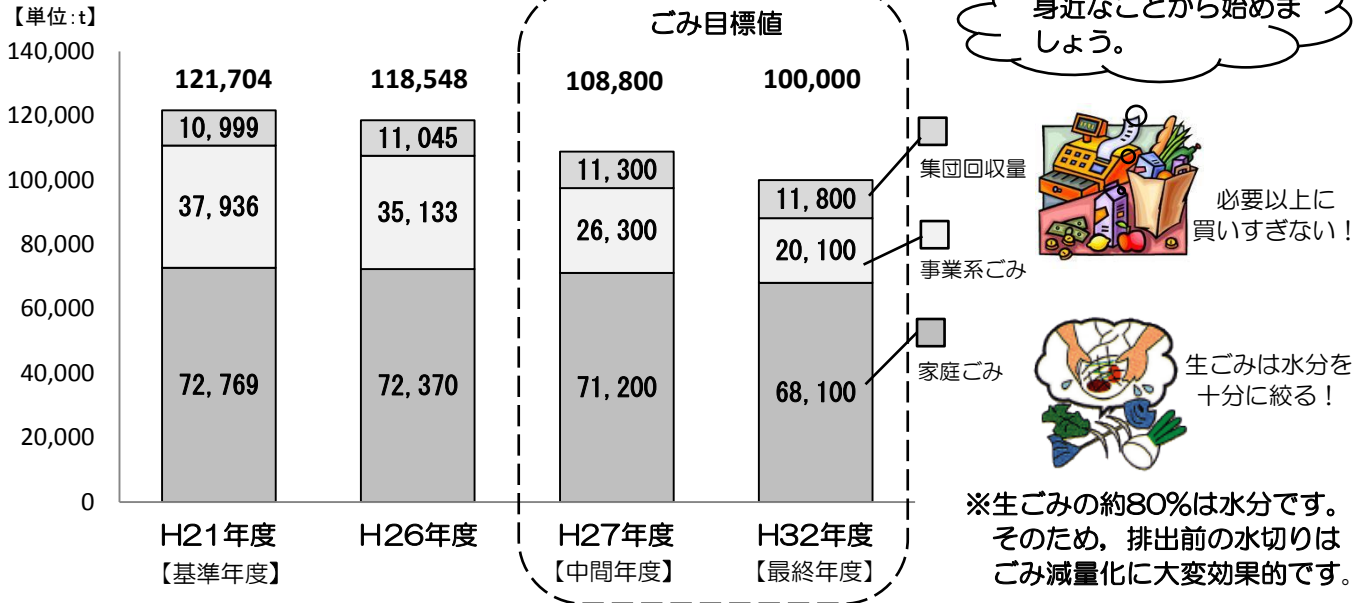
これらの収入は、ごみ処理費用に掛かる貴重な財源として活用しています。

ごみ処理等の数値目標

旭川市では、ごみ処理基本計画において、ごみの排出量削減などの数値目標を立てています。

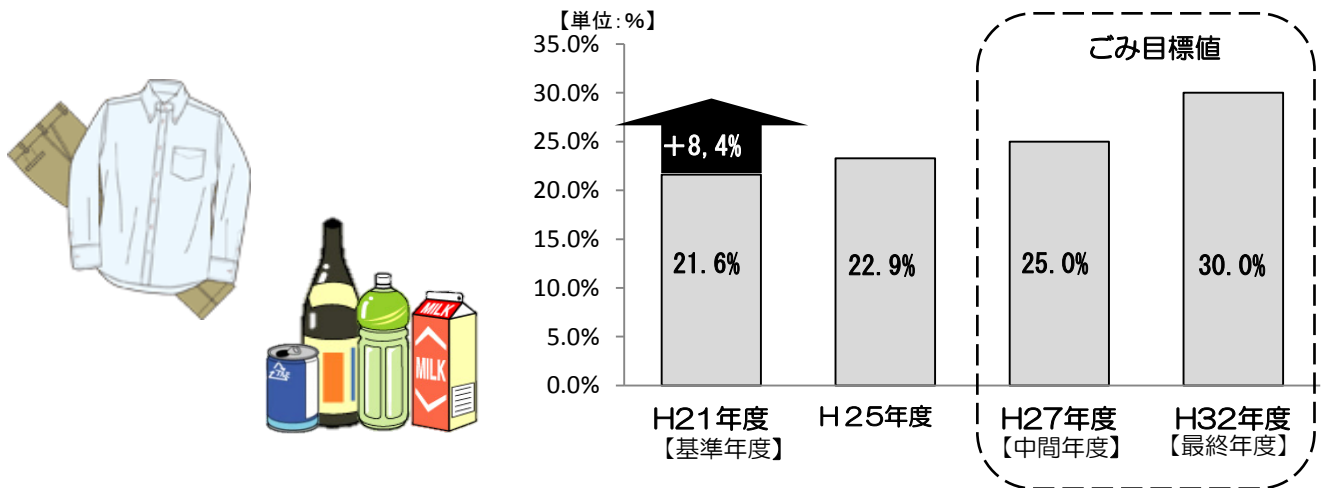
この計画は、市民・事業者の皆様との目的や情報の共有が重要となりますので、引き続き清掃指導員の地域との連携した取組や、ごみに関する情報の発信を進めてまいります。

ごみの総排出量目標



本計画の最終年度(平成32年度)の目標を達成するためには、1人1日当たりの排出量を、現在の935グラムから800グラムに減量する必要があり、さらなる減量化の取組や対策が求められますが、市民や事業者の皆様と協力しながら、ごみの削減を進めてまいります。

リサイクル率の目標【平成27年度に25%、32年度までに30%へ上げる】



旭川市の平成25年度のリサイクル率は、全国平均(20.6%)を上回っており、中核市43市(現在は45市)の中では13位に位置しています。

今年度はごみ処理基本計画の中間年度に当たり、計画の見直しを行っています。

今までの取組を検証して、より効果的な取組をすすめ、さらなるリサイクル率の向上を目指しています。

引き続き、新たな分別や資源化に向けた調査・研究を行ってまいりますので、今後も、皆様の御理解と御協力をお願いします。